



ツキノワグマの人里への出没と捕獲数の変動は、秋期の主要なエサである堅果類などの結実状況と関連していることが分かっています。そのため、ツキノワグマだけではなく多くの野生動物が利用するどんぐりの着果状況を把握した上で、人への注意喚起をすることを目的に、今年も8月に市内西部の着果状況を調査しました（写真は9～10月のもの）。



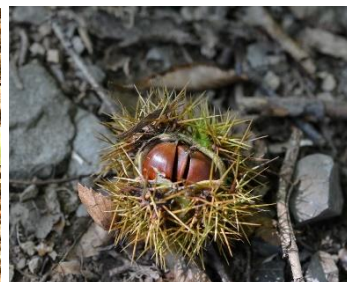
ブナ(平成25年9月)



コナラ(平成25年10月)



ミズナラ(平成25年10月)



ヤマグリ(平成26年10月)

下の図（図1）は、市内西部を4つのエリアに分けて着果状況を表したものです。どんぐりは、高標高域に分布するブナ（Aエリアのみ）、ミズナラ（A,CエリアとDエリアに1本）と、低～高標高域に分布するヤマグリ、コナラです。昨年の市西部全体の実りは並作でしたが、今年は不～並作です。樹種別（表1）にみると、昨年同様ブナが凶作、ミズナラは昨年並～豊作でしたが今年は並作、ヤマグリは昨年同様不作、コナラは昨年並～豊作でしたが今年は不～並作です。また、本市の西隣に位置する檜原村の状況も確認したところ（2地点）、ミズナラが並～豊作、ヤマグリが凶作、コナラが並作でした。

図1

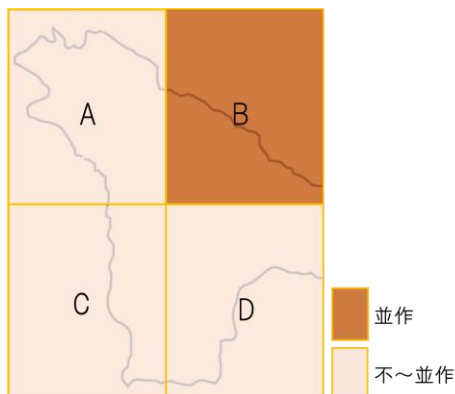


表1

樹種	着果状況
ブナ	凶作
ミズナラ	並作
ヤマグリ	不作
コナラ	不～並作



↑「レンジャーOB」が調査に協力



↑「レンジャー」による調査

どんぐりの着果状況とツキノワグマ出没・目撃情報について

	ブナ	ミズナラ	コナラ	クリ	ツキノワグマ出没・目撃件数 (9～11月)
H24	未調査				14
H25	並～豊作	豊作	並作	—	1
H26	凶作	不作	不～並作	不～並作	5
H27	凶作	並～豊作	並作	不～並作	0
H28	凶作	不～並作	並作	並作	0
H29	並作	並～豊作	並～豊作	不～並作	0
H30	凶作	並～豊作	並～豊作	不～並作	0

どんぐりが不作だった平成26年には人里への出没・目撃情報が5件ありましたが、その後はありません。

東京都内のツキノワグマ出没・目撃情報は、平成28年に83件ありましたが、市内のどんぐりが並作だったことと「野生動物を人里へ誘引しないための行動」が周知されて、地域の方が行動して下さっていることも、市内での出没がなかった要因の一つだと考えています。

夏の森は、野生動物の食べ物となる実の種数が少なくなります。どんぐり不作年は、平年よりも行動圏を低標高地域に大きく拡大するクマがいることが明らかとなっていることから、どんぐりが成熟する9月下旬から10月までは特に人里への出没に注意が必要です。

野生動物を人里へ誘引する人家付近のクリ等の果実を収穫するなど、出没させないための行動は、生物多様性を守り育む本市にとっても地域の暮らしを守るためにも重要です。

今年も、野生動物を人里へ誘引しないためにご協力よろしくお願い致します！

できることからやりましょう

- * 果実は収穫しましょう
- * 漬物樽や肥料などは屋内に入れましょう
- * ゴミは決まった時間に出しましょう
- * 野生動物への餌付けはやめましょう
- * 野生動物の隠れ場所になる草藪を整備しましょう
- * 山に入る心構えや準備をしましょう
- * 夜の一人歩きは控えましょう

平成24年にツキノワグマの出没・目撃情報が相次いだことを受け、平成25年からどんぐりの着果状況調査を開始しました。左の表は、市内のどんぐり着果状況とツキノワグマ出没・目撃情報（9～11月）です。

調査地の1地点では、コレンジャーも調査を続けており、「人里に野生動物を誘引しないために出来ること」を地域の人に伝えるため、レンジャーだけではなく、コレンジャーも注意喚起をしています。（下記ポスター）

